

2018年12月13日

英国医療機器ベンチャー ヴェリアン社を買収

大塚ホールディングス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長兼 CEO:樋口達夫)の子会社で医療機器事業を行う大塚メディカルデバイス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:東條紀子、以下「大塚メディカルデバイス」)は、Veryan Medical Ltd.(本社:Horsham, UK、CEO:Chas Taylor、以下「ヴェリアン社」)を買収いたしました。

今後、大塚メディカルデバイスとヴェリアン社は共同で、血管内に旋回血流をもたらすユニークな末梢動脈ステント「BioMimics 3D」の事業化を進め、血管内治療領域に注力していきます。ヴェリアン社は、2018年10月に米国FDAより本ステントの市販前承認を取得しています。

ヴェリアン社のCEO チャス・テイラーは「大塚メディカルデバイスグループの一員となることをうれしく思います。両社の協力によりヴェリアン社は、「BioMimics 3D」ステントのより強固な臨床データパッケージの構築と末梢領域の血管内治療のさらなる発展を目指します」と述べています。

大塚メディカルデバイスの代表取締役社長 東條紀子は「ヴェリアン社のステント技術を大塚メディカルデバイスの戦略の中に位置づけ、同社と共同で事業化および革新的な製品の開発を進めます」と述べています。

ヴェリアン社(Veryan Medical Ltd.)について

ヴェリアン社は、英国ウエスト・サセックス州ホーシャムに本社を置き、研究開発および製造はアイルランドのゴールウェイで活動を行っています。ヴェリアン社が開発した「BioMimics 3D」は、生体内の血管を模したユニークな三次元らせん構造を有する金属製の下肢(ひざ上)用ステントで、血管内に旋回血流をもたらすことで血管壁の摩擦を適切に保ち血管内皮を保護することを目指してデザインされています。また、三次元らせん構造は下肢が屈曲した際のステントの破損を防ぐことも目指しています。

現在、欧州においてはCEマークの認証を取得し、2018年10月には米国FDAより承認を取得しています。

詳細は、ヴェリアン社ウェブサイト(<http://www.veryanmed.com/>)をご覧ください。